

事業番号	02 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	計画行政費	部局	企画振興部	課・室	総合政策課				
		実施期間	H25 ~	E-mail	seisaku@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策									

1 現状と課題

- ・しあわせ信州創造プラン2.0が最終年度を迎えることから施策の着実な推進を図るとともに、社会・経済情勢の変化やプラン2.0の政策評価結果等を踏まえて新たな総合5か年計画を策定する。
- ・SDGsの県民認知度は43.9%（2021.6 民間調査）と上昇しているが、SDGsの取組のさらなる普及・拡大が必要。

2 事業目的

- ・しあわせ信州創造プラン2.0の基本目標である「確かな暮らしが営まれる美しい信州」が実現している。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①次期総合5か年計画の策定
- ・しあわせ信州創造プラン2.0の政策評価結果を踏まえ、PDCAサイクルを回すことで、プラン2.0の着実な推進を図るとともに、総合計画審議会の開催や県民の満足度等に関するデータ収集等を行い、次期総合5か年計画を策定する。
- ②県民のSDGs達成に取り組む機運の醸成
- ・優良事例を表彰する「信州SDGsアワード」の開催やポータルサイトの運営、SNSの発信等を実施。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	信州SDGsアワード応募件数	件	—	63	—	—	—	80	—	・SDGsを県民とともに推進するため、県民の意識醸成効果として応募件数を成果目標に設定 ・R3年度応募件数63件に対し、アワード制度の認知度向上等も踏まえ応募件数約2割増加を目標として設定	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	19,764	△ 8,055	11,709	11,709	11,508	6.0
R3年度	0	26,367	0	26,367	26,307	20,565	6.0
R2年度	0	26,127	696	26,823	25,431	16,288	6.0

事業番号	02 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	計画行政費	部局	企画振興部	課・室	総合政策課	

6 主な取組実績と成果

①次期総合5か年計画の策定

- ・子育て世代や県内大学生、シニア世代、首都圏在住若者など各界各層の方々と意見交換を実施。また、有識者による講演や、AIを活用した長野県の未来に関するシミュレーションの結果も踏まえ、計画の策定を行った。
- ・総合計画審議会では令和3年度から審議を開始し、令和4年11月に答申。その後パブリックコメントや県議会からの提案を計画に反映し、令和5年2月議会に提出、3月24日部局長会議にて決定、公表を行った。
- ・計画全体を要約した「概要版」のほか、今計画から新たに県民の皆様と共に実現したい将来像や計画の考え方をわかりやすくまとめた「ビジョンブック」を制作した。



概要版



ビジョンブック

②県民のSDGs達成に取り組む機運の醸成

- ・ポータルサイトの運営、SNSの発信等を実施し、SDGsの普及や県民のSDGs達成に向けた実践活動を促進した。
- ・信州SDGsアワードは、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ開催を検討していたが、感染が拡大したことから開催を見送った。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	信州SDGsアワード応募件数	R3年度推移	—	R4年度推移	—	達成状況	—
新型コロナウイルス感染拡大のため、開催を見送ったことから実績値なし。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・新たな総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」が策定されたことから、計画に盛り込んだ取組を着実に実行していくことが必要。
- ・計画の目標を達成するためには、県民の協力が不可欠であり、共に目指す将来像をわかりやすくまとめた「ビジョンブック」を初めて制作したことから、こうしたツールを活用して周知を図り計画の普及に取り組んでいく必要がある。
- ・SDGsに関する県民認知度は63.5%（2023.6民間調査）と年々上昇しているが、目標達成に向けてさらにSDGsの普及や実践活動の拡大を図っていくことが必要。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・新しい時代に向け、社会経済システムの転換や施策の新展開・加速化など横断的に特に取り組む必要がある政策を位置付けた「新時代創造プロジェクト」を着実に推進するため、有識者等との意見交換や先進地視察など政策構築を進めるための予算を計上し、政策づくり検討を進めていく。
- ・ビジョンブック・概要版の配布や、広域説明会、県政出前講座、ホームページによる発信を通じて計画の普及を図っていく。
- ・ポータルサイト、SNSを中心としてSDGsの取組の普及・拡大を図るとともに、優良事例を表彰するSDGsアワードをより多くの人に参加してもらうために、リアルとオンラインのハイブリッド開催とする。

事業番号	02 01 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	計画行政費		部局	企画振興部	課・室	総合政策課	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	計画行政費		16,288 千円	20,565 千円	11,508 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	しあわせ信州創造プラン3.0の策定	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・長野総合計画審議会、県民との意見交換、有識者による講演の開催や、県民の満足度等に関する調査の実施 ・計画普及のための概要版・ビジョンブックの作成 ・審議会4回、県民との意見交換6回、有識者による講演3回など 		
2	信州SDGsの推進	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトの運営、SNSの発信等を実施 Instagramを年45回投稿 		
3	チャレンジプロジェクトの政策構築	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの成果と課題を整理し、引き続き取り組む必要があるものはプラン3.0の新時代創造プロジェクトへ継承 デジとしよ信州の開設、里山整備利用地域が105地域に増加など 		